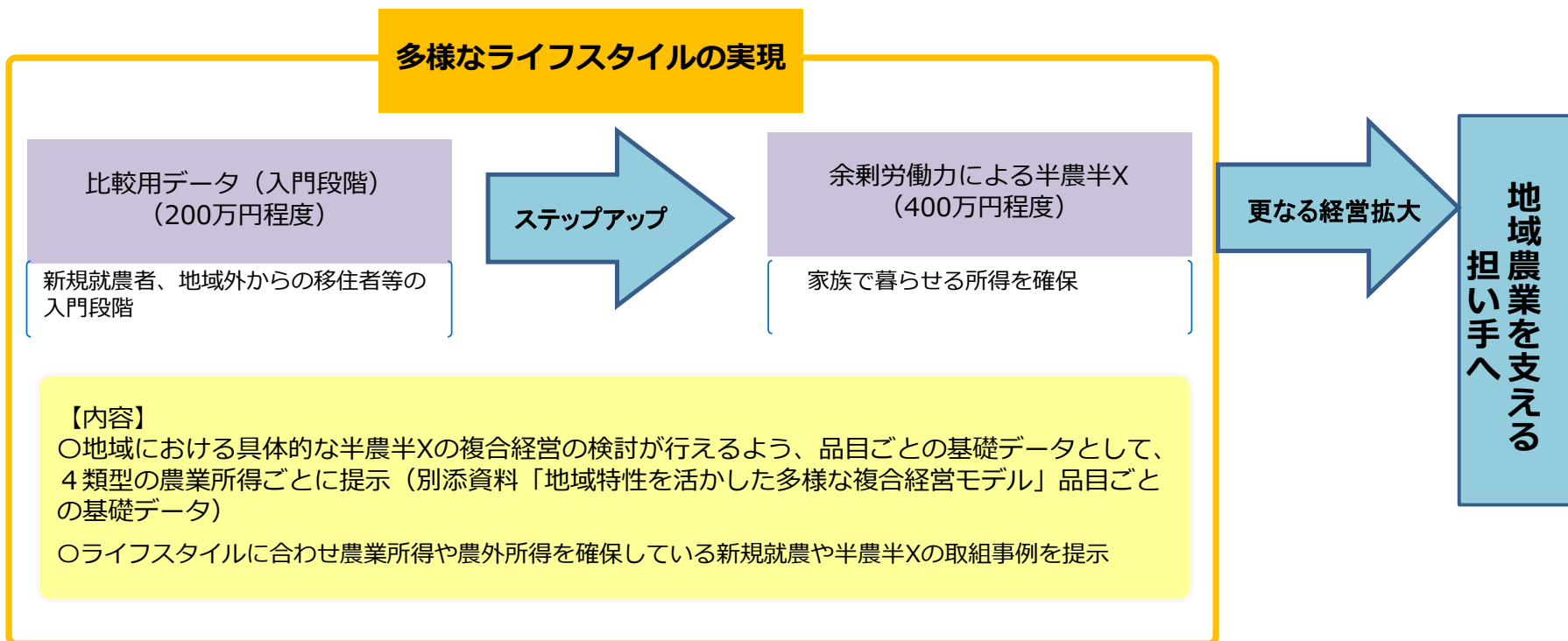


「地域特性を活かした多様な複合経営モデル」を 活用した多様なライフスタイルの実現

ライフスタイルに合わせ農業所得や農外所得を確保
している新規就農者（1事例）、半農半Xの取組事例
（3事例）

「地域特性を活かした多様な複合経営モデル」の活用の考え方

- 中山間地域等においては、人口減少・高齢化が深刻化しており、地域農業の担い手の裾野の拡大が必要。
- 他方、中山間地域では、地域特性を活かした様々な経営の組み合わせにより、ライフスタイルに合わせて所得を確保しているケースも出てきている。
- 地域特性を活かした多様な複合経営のモデルを活用し、農外所得を活かした半農半Xによる多様なライフスタイルを実現することも可能



「地域特性を活かした多様な複合経営モデル」取組事例①

①地域とのつながりを活かした新規就農(移住)の取組事例

濱山幸波氏【宮崎県高千穂町】

実施主体の概要

- ・きゅうり(露地) 12a
- ・花き(ランタンキュラス、りんどう) 12a
- ・水稻 20a
- ・農業所得(粗収益－経営費)
600万円/年－433万円/年
＝ 167万円/年



ランキュラス生産部会のみなさん



ランキュラスハウスでの濱山さん



りんどう栽培(平張ネットハウス)

取組の特徴

- ・小規模の稲作と野菜、花卉を組み合わせて経営。
- ・農業大学校卒業後、自分がやりたい地域の景観・文化をみんなで協力して守っていくような集落営農とは違う農業を経験しようと、大規模法人に就農。2年間そこで働く間に月1回程度高千穂町に通い移住等の準備を進めた。
- ・農業機械の共同利用などの「農事組合法人高千穂かわのぼり」が就農1年前に設立されたため、農地や機械を法人から借りることができ、理想の農業に挑戦できると思い移住を決意。学校では野菜を勉強していたため、最初は野菜での営農を計画していたが、冬の作業が無いと生活が出来ないと考え花き(ランタンキュラス)を加えた。平成27年からはランタンキュラス生産部会に加入し、会員間で切磋琢磨し技術の向上を図っている。また、りんどうは去年から栽培を始めている。

取組の工夫・効果

- ・農地は農地中間管理機構を介して使用貸借。水稻作業の機械は全て法人からのレンタル。現在4棟のハウスを保有し、最初の1つは攻めの農業実践緊急対策事業で設置。3棟は中古ハウスで、町単独事業(上限30万円)を受けて設置。青年就農給付金は1年半準備型を受給し、その後、5年間経営開始型を受給。
- ・ビニールハウスで音楽ライブを開催するなど自然体を意識。自らの経営は、今後も現状維持とし農事組合法人高千穂かわのぼりの活性化に力を入れる予定。その活性化された姿を見せて、若い専業農家を増やすことが将来の目標。

「地域特性を活かした多様な複合経営モデル」取組事例②

②半農半X(周年雇用型)の取組事例

金田信治氏 【島根県津和野町】

実施主体の概要

- ・野菜(とうがらし)0.3a
- ・半X 農業法人雇用(4月～10月)
- ・半X 酒造会社勤務(11月～3月)
- ・農業所得(粗収益) 10万円/年
- ・農外所得(妻を含む) 250万円/年



集落の草刈り作業



酒造会社での金田さん

取組の特徴

- ・野菜(とうがらし)栽培に取組みながら、夏場は集落営農法人の研修生として冬場は酒造会社に勤務。
- ・東京農業大学在学中に参加した新農業人フェアで最初に着席したのが津和野町ブース。町担当者の話を聞き2週間の移住体験を決意。その後、島根県の定住財団で産業体験を1年間、半農半X研修を1年間行い、最初のフェア相談から3年かけて定住にいたった。
- ・それまで農業はやったことがなく、半農半X研修の対応をしてくれた県普及員が地域特産の甘長(あまなが)とうがらしの栽培を丁寧に教えてくれた。地元の農家の人は習うより慣れろで生活のことも気にかけてくれたり非常に助かった。研修先であった集落営農法人の作業を続けている。就農して2年目に移住前(神奈川県)からの彼女と結婚し現在は2人で生活している。

取組の工夫・効果

- ・4月から10月は集落営農法人で働きながら(4月稲苗育苗、5月田植え草刈り、7月広域連携法人のヘリ防除、9月稲刈り。10月山林の手伝い)、比較的暇のある6月はとうがらしの管理に、8月は収穫・出荷(JA共販)に充てている。この期間は日曜日ともう1日休みを取るようになっている。11月から3月は酒蔵に週6日で1日7時間働く。妻は農業には携わらず年間を通じ福祉施設でバイトしている。
- ・就農して4年となるが自営農業の経営者になろうとは思っていない。集落営農の縁の下での力持ちになりたいと思っている。地域に必要とされる草刈りとか、収穫した粃の運搬とか手伝うことが好き。集落営農法人「おくがの」の研修生として地域の人に覚えてもらった今、集落からも将来の法人の核として期待されており、地域の一員として集落営農法人や酒蔵の仕事をこれからも続けていきたいと思っている。

「地域特性を活かした多様な複合経営モデル」取組事例③

③半農半X(季節雇用型)から専業化への取組事例

柿元信次氏 【島根県浜田市】

実施主体の概要

- ・ぶどう(ピオーネほか) 54a
- ・野菜(スイートコーンほか) 90a
- ・半X 除雪作業(12月～3月)
- ・農業所得(粗収益－経営費)
1,170万円/年－620万円/年
＝ 550万円/年
- ・農外所得 90万円/年



柿元ご夫妻(ブドウ園)



野菜畑での柿元さん

取組の特徴

- ・ぶどう(ピオーネ、マスカット)を主力に夏場のスイートコーンを組み合わせて経営。冬場は高速道路の除雪作業に契約社員として勤務。
- ・愛知県でサラリーマンをしながら就農に関する情報を収集。農業生産で家族を養うことを望み、独立自営できる候補地を検討。研修時の支援策等から島根県での半農半X研修を選択し、浜田市のふるさと農業研修生第1号として移住。当初は妻と子供1人でスタート(奥様は研修生としては移住せず育児に専念)。現在は子供さんは4名に増え、奥様の両親も近所に呼び寄せている。住居は浜田市が斡旋した空き家を借りて生活。
- ・研修先でぶどう栽培を学び、将来の経営の柱にすることを決める。農業普及員、JA指導員の指導を受けながらぶどう樹が成長するまでの収入源として色々な野菜に取組み、定植時期を分散し収穫期をずらした直売や早朝収穫がライフスタイルにも合致したスイートコーンとの複合経営を選択。就農5年目にはぶどう面積が54aとなり、将来の夢である顔の見える直接販売ができる見通しができ現在にいたる。

取組の工夫・効果

- ・収穫したものをその日のうちに顧客へ届けことが顧客との信頼構築に必要不可欠と考え、経営継続補助金を活用したぶどうの出荷段ボールの梱包機を導入。また、ぶどう、朝どりのスイートコーンは自宅前での直売、ネット等による受注宅配やJA産直、スーパー直売コーナーで販売している。農作業は妻、妻の両親を含めて4人、家族労働の勤務時間を記録して報酬を渡している。
- ・令和元年度(就農9年目)農業販売額が初めて1,000万円を超えた。地域からの雇用等は現状の経営規模と季節労働では難しいとも考えている。将来的には専業化し法人化等も視野に入れており、当面は現状で資金をためて、ぶどうの規模拡大の準備を進めている。

「地域特性を活かした多様な複合経営モデル」取組事例④

④半農半X(自営業型)の取組事例

石川翔氏・美緒氏【徳島県勝浦町】

実施主体の概要

- ・かんきつ類(温州みかん、スタチ) 40 a
- ・半X 民宿、古民家の床張り、古本屋、他
- ・農業所得(販売額) 420万円/年
- ・農外所得(売上額) 105万円/年



温州みかんの収穫



「みかん農家の宿 あおとく」



古民家の床張り事業

取組の特徴

- ・温州みかんを中心に、農泊、床張り、古本屋などの小さな生業(なりわい)を組み合わせる新しいライフスタイルを実現。
- ・5年前(H27)に勝浦町の「求む！ミカン農家の後継者」の募集をみて東京から会社を辞めて夫婦で移住。みかん農家の畑と家を継いで営農を始めるとともに、農家からみかん栽培技術や地域で生活するうえでのルール、知恵なども教わった。
- ・収入の約8割は農業。11月から3月頃までが収穫の繁忙期。繁忙期以外の農作業の合間に、農業以外の事業として大きく行っているのが3年前(H29)から始めた民宿。民宿の利用者は主にウェブサイトからで日本と海外の利用者が半々。他に、床張りのワークショップ、自宅の一部を改装した古本屋、テントの中に薪ストーブを入れてサウナ状態にするテントサウナ、地域のお祭り等での屋台の出店といった事業を行っている。

取組の工夫・効果

- ・R元年の売上げは農業が420万円、宿が85万円、古本屋は8万円、床張り7万円、屋台5万円。ほかに、青年就農給付金を夫婦で受給しており、今年で受給最終年になる。青果販売が伸びてきており給付金が切れた後でも収入は現状を上回る見込み。
- ・定住や営農継承できたポイントとして、自分たちがしっかりどういう生活をしたいか思い描き、理想と現実の間を埋めるために地域や農業のデータを集めたこと。また、これまでの営農をそのまま実行したこと。外的要因としては、移住担当者による様々なサポートや就農給付金があったこと。町の移住お試しハウスという施設が便利だったことや、地域の方々といい距離感があったことも良かった。
- ・今後の展望として樹園地を拡大して経営を安定させたい。民宿、本屋の売上げを上げるよりは、お客さんの満足度を上げることや、農業との兼ね合いで負担を軽減することを考えている。

「地域特性を活かした多様な複合経営モデル」 品目ごとの基礎データ

水稻、野菜、果樹、花き、工芸作物、畜産、林業
計19品目の基礎データ

基礎データ一覧

部門	作物名	作物選定理由
水稻	水稻	一般作物。
野菜	露地なす（夏秋）	果菜類として、基幹作物の一つであるため。
	施設ミニトマト（雨よけ夏秋）	果菜類として、全国的に作られている基幹作物の一つであるため。
	施設ほうれんそう（年4作）	葉物野菜として、年中需要があるため。また1作が短く災害による影響を回避しやすい。
	露地ブロッコリー	全国的に作付けがされており、また引き合いが強い品目のため。
果樹	ぶどう	全国的に広く栽培可能であり、果樹において高収益が期待できる品目であるため。
	なし	全国的に広く栽培可能な果樹の品目であるため。
	かき	中山間地域における果樹の基幹代表作物のひとつであるため。
	ブルーベリー	栽培管理に要する労力が他の果樹品目と比較して少ないため。
	レモン	栽培管理に要する労力が他の果樹品目と比較して少ないため。
	うめ	果実加工品への展開が期待できる品目であるため。
花き・花木	りんどう	彼岸需要等の市場性が高く、価格が安定。
	ダリア	施設栽培により周年採花が可能で、経営が安定。
工芸作物	茶（自園自製自販）	中山間でも生産可能であり、今後の生産の増加が見込める品目であるため。
	薬用作物（シャクヤク）	寒暖いずれの地域でも生育する広域適応性がある地域特産物のため。
	薬用作物（トウキ）	寒暖いずれの地域でも生育する広域適応性がある地域特産物のため。
畜産	繁殖経営	畜種の中でも専業率の低い畜種であること、酪肉近や基本計画でも目指すべき姿を公表している畜種であることなどから、繁殖経営を選択。
林業	スギ	林業で代表的な樹種であり中山間地域でも主要な樹種と考えられるため。
	原木しいたけ	特用林産物の中でも比較的中山間地域における複合経営が多い品目であると想定されるため。

基礎データ（水稻）

【作物作型】： 水稻

【作物選定理由】： 一般作物

		1類			2類			3類			4類			備 考	
		目標50万円			100万円			150万円			200万円				
農業部門労働時間		403			466			751			961				
農 業 所 得	粗収益（万円）	193			266			471			604				
	経費（万円）	142			162			319			409				
	所得（万円）	52			104			152			195				
経営規模（a、頭、等）		1. 6ha			2. 2ha			3. 9ha			5. 0ha			育苗ハウス、播種機、トラクター、田植機、コンバイン、乾燥機、粃すり機	
作業名（大分類）		←育苗→←田植え→←収穫、乾燥→ ←耕起→←中間管理（追肥、除草、水管理、防除）→←耕起、基肥→													
月別労働時間（h）		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	備 考
1類	労働時間（基幹）	0	0	7	37	40	35	20	26	40	4	22	22	253	
	労働時間（補助）	0	0	7	0	40	30	19	20	34	0	0	0	150	
	計	0	0	14	37	80	65	39	46	74	4	22	22	403	
2類	労働時間（基幹）	0	0	18	47	70	60	42	49	60	4	25	25	400	
	労働時間（補助）	0	0	0	0	32	6	0	0	28	0	0	0	66	
	計	0	0	18	47	102	66	42	49	88	4	25	25	466	
3類	労働時間（基幹）	0	0	32	77	100	116	64	74	100	7	40	40	650	
	労働時間（補助）	0	0	0	0	53	8	0	0	40	0	0	0	101	
	計	0	0	32	77	153	124	64	74	140	7	40	40	751	
4類	労働時間（基幹）	0	0	40	98	150	150	82	95	149	9	52	52	877	
	労働時間（補助）	0	0	0	0	46	8	0	0	30	0	0	0	84	
	計	0	0	40	98	196	158	82	95	179	9	52	52	961	

備考（１）作物は一般作物（代表的作物）の他、省力作物、特産物、有望・奨励作物なども考慮して選定（「作物選定理由」もこの視点で簡潔に記載）。

（２）農業所得、労働時間は、基本計画の経営モデル策定時の基礎データ等を活用して算出（統計データの基準年（H29年度）は原則合わせること）。

基礎データ（露地なす（夏秋））

【作物作型】：露地なす（夏秋）

【作物選定理由】：果菜類として、基幹作物の一つであるため。

		1類			2類			3類			4類			備 考		
		目標50万円程度			100万円程度			150万円～200万円程度			250万円～350万円程度					
農 業 所 得	粗収益（万円）	184			276			460						・労働時間（補助）において、月150時間未満は家族労働。月150時間超える分は臨時雇用で1時間1,000円で計上。		
	経費（万円）	130			179			309								
	所得（万円）	54			97			151								
経営規模（a、頭、等）		8a			12a			20a						トラクター・軽トラック・管理機・動力噴霧機・灌水設備・作業場・農機具格納舎		
作業名（大分類）		◎ 定植 肥培管理 収穫														
月別労働時間（h）		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	備 考	
1類	労働時間（基幹）	4	0	3	57	46	68	150	150	132	53	14	12	690		
	労働時間（補助）	0	0	0	0	0	0	9	46	0	0	0	0	55		
	計	4	0	3	57	46	68	159	196	132	53	14	12	744	家族2名	
2類	労働時間（基幹）	6	0	5	86	69	102	150	150	150	79	21	18	836		
	労働時間（補助）	0	0	0	0	0	0	88	144	48	0	0	0	280		
	計	6	0	5	86	69	102	238	294	198	79	21	18	1117	家族2名	
3類	労働時間（基幹）	10	0	8	143	116	150	150	150	150	132	35	31	1075		
	労働時間（補助）	0	0	0	0	0	19	247	340	180	0	0	0	786		
	計	10	0	8	143	116	169	397	490	330	132	35	31	1861	家族2名＋臨時雇用2名	
4類	労働時間（基幹）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	労働時間（補助）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

備考（１）作物は一般作物（代表的作物）の他、省力作物、特産物、有望・奨励作物なども考慮して選定（「作物選定理由」もこの視点で簡潔に記載）。

（２）農業所得、労働時間は、基本計画の経営モデル策定時の基礎データ等を活用して算出（統計データの基準年（H29年度）は原則合わせること）。

基礎データ（施設ミニトマト（雨よけ夏秋））

【作物作型】：施設ミニトマト（雨よけ夏秋） 【作物選定理由】：果菜類として、全国的に作られている基幹作物の一つであるため。

		1類		2類		3類		4類		備 考					
		目標50万円程度		100万円程度		150万円～200万円程度		250万円～350万円程度							
農 業 所 得	粗収益（万円）	203		284		405		811							
	経費（万円）	142		180		239		454		・施設以外の減価償却費は10a分と同等。 ・労働時間（補助）において、月150時間未満は家族労働。月150時間を超える分は臨時雇用で1時間1,000円で計上。					
	所得（万円）	61		104		166		357							
経営規模（a、頭、等）		5a		7a		10a		20a		トラクター・軽トラック・管理機・動力噴霧機・養液土耕システム・ビニールハウス・作業場・農機具格納舎					
作業名（大分類）		←育苗管理 → ◎ 定植 → 肥培管理 → 収穫													
月別労働時間（h）		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	備 考
1類	労働時間（基幹）	0	0	3	41	68	57	91	108	81	29	23	0	498	
	労働時間（補助）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	3	41	68	57	91	108	81	29	23	0	498	家族2名
2類	労働時間（基幹）	0	0	4	57	95	79	127	150	113	40	32	0	697	
	労働時間（補助）	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
	計	0	0	4	57	95	79	127	151	113	40	32	0	698	家族2名
3類	労働時間（基幹）	0	0	5	81	135	114	150	150	150	58	46	0	888	
	労働時間（補助）	0	0	0	0	0	0	32	66	12	0	0	0	109	
	計	0	0	5	81	135	114	182	216	162	58	46	0	997	家族2名
4類	労働時間（基幹）	0	0	10	150	150	150	150	150	150	115	92	0	1117	
	労働時間（補助）	0	0	0	12	120	77	213	281	173	0	0	0	876	
	計	0	0	10	162	270	227	363	431	323	115	92	0	1993	家族2名＋臨時雇用 1 名

備考（1）作物は一般作物（代表的作物）の他、省力作物、特産物、有望・奨励作物なども考慮して選定（「作物選定理由」もこの視点で簡潔に記載）。

（2）農業所得、労働時間は、基本計画の経営モデル策定時の基礎データ等を活用して算出（統計データの基準年（H29年度）は原則合わせること）。

基礎データ（施設ほうれんそう（年4作））

【作物作型】：施設ほうれんそう（年4作）

【作物選定理由】：葉物野菜として、年中需要があるため。また1作が短く災害による影響を回避しやすい。

		1類			2類			3類			4類（省力化機器利用）			備 考	
		目標50万円程度			100万円程度			150万円～200万円程度			250万円～350万円程度				
農 業 所 得	粗収益（万円）	227			341			454			909				
	経費（万円）	178			245			313			631			・施設以外の減価償却費は10a分と同等。 ・労働時間（補助）において、月150時間未満は家族労働。月150時間超える分は臨時雇用で1時間1,000円で計上。	
	所得（万円）	49			96			141			278				
経営規模（a、頭、等）		10a			15a			20a			40a			トラクター・軽トラック・土壌消毒機（トラクター用）・管理機・動力噴霧機・運搬機・灌水設備・予冷库・ビニールハウス・作業場・農機具格納舎・収穫機（4類のみ）・出荷調整機（4類のみ）	
作業名（大分類）		○ — ■ ○ — ■ ○ — ■ ○ — ■ 播種 収穫 播種 収穫 播種 収穫 播種 収穫												他品目との複合経営を想定しているため、年4作として作成。	
月別労働時間（h）		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	備 考
1類	労働時間（基幹）	0	0	30	20	114	134	100	97	132	123	65	3	817	
	労働時間（補助）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	30	20	114	134	100	97	132	123	65	3	817	家族2名
2類	労働時間（基幹）	0	0	45	31	150	150	150	145	150	150	97	5	1072	
	労働時間（補助）	0	0	0	0	21	51	0	0	48	34	0	0	153	
	計	0	0	45	31	171	201	150	145	198	184	97	5	1225	家族2名
3類	労働時間（基幹）	0	0	60	41	150	150	150	150	150	150	129	6	1136	
	労働時間（補助）	0	0	0	0	78	117	49	43	114	95	0	0	497	
	計	0	0	60	41	228	267	199	193	264	245	129	6	1633	家族2名
4類	労働時間（基幹）	0	0	120	82	150	150	150	150	150	150	147	12	1261	
	労働時間（補助）	0	0	0	0	155	167	76	72	163	126	0	0	758	
	計	0	0	120	82	305	317	226	222	313	276	147	12	2019	家族2名＋臨時雇用1名

備考（１）作物は一般作物（代表的作物）の他、省力作物、特産物、有望・奨励作物なども考慮して選定（「作物選定理由」もこの視点で簡潔に記載）。

（２）農業所得、労働時間は、基本計画の経営モデル策定時の基礎データ等を活用して算出（統計データの基準年（H29年度）は原則合わせること）。

基礎データ（露地ブロッコリー）

【作物作型】：露地ブロッコリー

【作物選定理由】：全国的に作付けがされており、また引き合いが強い品目のため。

		1類		2類		3類		4類		備 考					
		目標50万円程度		100万円程度		150万円～200万円程度		250万円～350万円程度							
農 業 所 得	粗収益（万円）	131		262		393									
	経費（万円）	85		162		239									
	所得（万円）	46		100		154									
経営規模（a、頭、等）		40a		80a		120a				管理機・動力噴霧機・育苗ハウス（50㎡）・半自動移植機（注）					
作業名（大分類）		○ ● 播種定植肥培管理収穫 (秋冬型)													
月別労働時間（h）		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	備 考
1類	労働時間（基幹）	12	12	8	4	0	0	78	94	36	74	72	64	454	
	労働時間（補助）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	12	12	8	4	0	0	78	94	36	74	72	64	454	家族2名
2類	労働時間（基幹）	24	24	16	8	0	0	150	150	73	147	144	128	864	
	労働時間（補助）	0	0	0	0	0	0	6	38	0	0	0	0	44	
	計	24	24	16	8	0	0	156	188	73	147	144	128	908	家族2名
3類	労働時間（基幹）	36	36	24	12	0	0	150	150	109	150	150	150	967	
	労働時間（補助）	0	0	0	0	0	0	84	132	0	71	66	42	395	
	計	36	36	24	12	0	0	234	282	109	221	216	192	1362	家族2名
4類	労働時間（基幹）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	労働時間（補助）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

備考（１）作物は一般作物（代表的作物）の他、省力作物、特産物、有望・奨励作物なども考慮して選定（「作物選定理由」もこの視点で簡潔に記載）。

（２）農業所得、労働時間は、基本計画の経営モデル策定時の基礎データ等を活用して算出（統計データの基準年（H29年度）は原則合わせること）。

（注）トラクターや軽トラック、作業場、農機具格納舎は、他品目でも使うものとし、減価償却費・修繕費・利息に計上せず、予冷库は農協などの出荷組織が保有しているものとし、減価償却費・修繕費・利息に計上していない。

基礎データ（ぶどう）

【作物作型】：ぶどう

【作物選定理由】：全国的に広く栽培可能であり、果樹において高収益が期待できる品目であるため

		1類		2類		3類		4類		備 考					
		目標50万円程度		100万円程度		150万円～200万円程度		250万円～350万円程度							
農 業 所 得	粗収益（万円）					550		812							
	経費（万円）					372		496							
	所得（万円）					178		316							
経営規模（a、頭、等）						40a		60a		○導入施設、機械等（例） ぶどう棚、農機具庫、軽トラック、自走式SS、ロボット 草刈機、アシストスーツ、気象観測装置 等					
作業名（大分類）		← 整枝 ← ジベレリン処理、房作り、収穫 ← 施肥 ← 剪定 摘粒、袋かけ、傘かけ ← 中間管理（除草、水管理、防除、新梢管理） → 3類：シャインマスカット25a、ピオーネ15a 4類：シャインマスカット35a、ピオーネ25a													
月別労働時間（h）		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	備 考
1類	労働時間（基幹）														
	労働時間（補助）														
	計														
2類	労働時間（基幹）														
	労働時間（補助）														
	計														
3類	労働時間（基幹）	0	2	55	0	71	150	2	150	2	2	53	112	598	
	労働時間（補助）			8			228		92			14		342	家族労働力1名（248h） 臨時雇用1名（94h）
	計	0	2	62	0	71	378	2	242	2	2	67	112	939	
4類	労働時間（基幹）	0	2	57	0	107	150	2	150	2	2	55	148	676	
	労働時間（補助）			36		8	418		212			46	20	740	家族労働力1名（402h） 臨時雇用3名（338h）
	計	0	2	94	0	107	568	2	362	2	2	101	168	1,409	

備考（1）作物は一般作物（代表的作物）の他、省力作物、特産物、有望・奨励作物なども考慮して選定（「作物選定理由」もこの視点で簡潔に記載）。

（2）農業所得、労働時間は、基本計画の経営モデル策定時の基礎データ等を活用して算出（統計データの基準年（H29年度）は原則合わせること）。

基礎データ（なし）

【作物作型】：なし

【作物選定理由】：全国的に広く栽培可能な果樹の品目であるため

		1類			2類			3類			4類			備 考	
		目標50万円程度			100万円程度			150万円～200万円程度			250万円～350万円程度				
農業所得	粗収益（万円）							844			1,125				
	経費（万円）							644			807				
	所得（万円）							200			318				
経営規模（a、頭、等）								60a			80a			○導入施設、機械等（例） なしジョイント樹形、農機具庫、軽トラック、多目的防災網、自走式SS、ロボット草刈機、アシストスーツ、気象観測装置 等	
作業名（大分類）														3 類：幸水30a、豊水30a 4 類：幸水40a、豊水40a	
月別労働時間（h）		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	備 考
1類	労働時間（基幹）														
	労働時間（補助）														
	計														
2類	労働時間（基幹）														
	労働時間（補助）														
	計														
3類	労働時間（基幹）	127	150	141	139	150	105	73	150	150	98	74	121	1,478	
	労働時間（補助）		8	28	80	96	73		40	83				408	家族労働力1名
	計	127	158	168	219	246	178	73	190	233	98	74	121	1,886	
4類	労働時間（基幹）	150	150	150	150	150	150	97	150	150	131	98	150	1,676	
	労働時間（補助）	20	61	75	142	178	88		103	161			12	839	家族労働力1名（549h） 臨時雇用2名（290h）
	計	170	211	225	292	328	238	97	253	311	131	98	162	2,515	

備考 (1) 作物は一般作物(代表的作物)の他、省力作物、特産物、有望・奨励作物なども考慮して選定(「作物選定理由」もこの視点で簡潔に記載)。

(2) 農業所得、労働時間は、基本計画の経営モデル策定時の基礎データ等を活用して算出（統計データの基準年（H29年度）は原則合わせること）。

基礎データ（かき）

【作物作型】： かき

【作物選定理由】： 中山間地域における果樹の基幹代表作物のひとつであるため

		1類			2類			3類			4類			備 考		
		目標50万円程度			100万円程度			150万円～200万円程度			250万円～350万円程度					
農 業 所 得	粗収益（万円）				330			660								
	経費（万円）				252			431								
	所得（万円）				78			229								
経営規模（a、頭、等）					60a			120a						○導入施設、機械等（例） 農機具庫、軽トラック、ロボット草刈機、アシスト スーツ、気象観測装置 等		
作業名（大分類）		← 剪定 → ← 摘蕾 → ← 施肥 → ← 摘果 → ← 施肥 → ← 収穫 → ← 中間管理（除草、水管理、防除、粗皮削り、摘葉、マルチ敷設） →													2 類：刀根早生30a、平核無30a 3 類：刀根早生60a、平核無60a	
月別労働時間（h）		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	備 考	
1類	労働時間（基幹）															
	労働時間（補助）															
	計															
2類	労働時間（基幹）	60	98	13	122	33	48	75	110	58	150	59	0	825		
	労働時間（補助）		37		31			31	4		75	4		182	家族労働力1名	
	計	60	135	13	153	33	48	106	114	58	225	63	0	1,007		
3類	労働時間（基幹）	120	146	25	150	66	96	99	148	115	150	134	0	1,250		
	労働時間（補助）		124		156			112	80		300	8		780	家族労働力1名（370h） 臨時雇用2名（410h）	
	計	120	270	25	306	66	96	211	228	115	450	134	0	2,022		
4類	労働時間（基幹）															
	労働時間（補助）															
	計															

備考（1）作物は一般作物（代表的作物）の他、省力作物、特産物、有望・奨励作物なども考慮して選定（「作物選定理由」もこの視点で簡潔に記載）。

（2）農業所得、労働時間は、基本計画の経営モデル策定時の基礎データ等を活用して算出（統計データの基準年（H29年度）は原則合わせること）。

基礎データ（ブルーベリー）

【作物作型】：ブルーベリー

【作物選定理由】：栽培管理に要する労力が他の果樹品目と比較して少ないため

		1類		2類		3類		4類		備 考					
		目標50万円程度		100万円程度		150万円～200万円程度		250万円～350万円程度							
農業所得	粗収益（万円）	95		190		380									
	経費（万円）	45		81		189									
	所得（万円）	50		109		191									
経営規模（a、頭、等）		10a		20a		40a				○導入施設、機械等（例） 農機具庫、軽トラック、乗用草刈機、灌水設備 等					
作業名（大分類）		← 整枝・剪定・誘引 → ← 収穫 → ← 施肥 ← 施肥 ← 施肥 ← 中間管理（除草、かん水、防除、土壌管理） →													
月別労働時間（h）		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	備 考
1類	労働時間（基幹）	15	24	6	18	7	99	150	77	4	4	1	1	404	
	労働時間（補助）							17						17	家族労働力1名
	計	15	24	6	18	7	99	167	77	4	4	1	1	420	
2類	労働時間（基幹）	30	48	12	36	13	150	150	150	8	7	1	1	606	
	労働時間（補助）						46	183	4					233	家族労働力1名（203h） 臨時雇用2名（30h）
	計	30	48	12	36	13	197	333	154	8	7	1	1	840	
3類	労働時間（基幹）	60	96	24	72	26	150	150	150	16	14	2	2	762	
	労働時間（補助）						244	516	158					918	家族労働力1名（450h） 臨時雇用4名（468h）
	計	60	96	24	72	26	394	666	308	16	14	2	2	1,680	
4類	労働時間（基幹）														
	労働時間（補助）														
	計														

備考（1）作物は一般作物（代表的作物）の他、省力作物、特産物、有望・奨励作物なども考慮して選定（「作物選定理由」もこの視点で簡潔に記載）。

（2）農業所得、労働時間は、基本計画の経営モデル策定時の基礎データ等を活用して算出（統計データの基準年（H29年度）は原則合わせること）。

基礎データ（レモン）

【作物作型】： レモン

【作物選定理由】：栽培管理に要する労力が他の果樹品目と比較して少ないため

		1類			2類			3類			4類			備 考		
		目標50万円程度			100万円程度			150万円～200万円程度			250万円～350万円程度					
農 業 所 得	粗収益（万円）	164			246											
	経費（万円）	122			165											
	所得（万円）	42			81											
経営規模（a、頭、等）		20a			30a									○導入施設、機械等（例） 農機具庫、軽トラック、動力噴霧器、灌水設備 等		
作業名（大分類）		← 施肥 施肥 → ← 剪定 → ← 摘果 → ← 摘果 → ← 収穫 → ← 施肥 施肥 施肥 施肥 → ← 中間管理（除草、かん水、防除、土壌管理） →														
月別労働時間（h）		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	備 考	
1類	労働時間（基幹）	0	12	12	96	8	10	26	18	20	28	26	26	282		
	労働時間（補助）													0		
	計	0	12	12	96	8	10	26	18	20	28	26	26	282		
2類	労働時間（基幹）	0	18	18	144	12	15	39	27	30	42	39	39	423		
	労働時間（補助）													0		
	計	0	18	18	144	12	15	39	27	30	42	39	39	423		
3類	労働時間（基幹）															
	労働時間（補助）															
	計															
4類	労働時間（基幹）															
	労働時間（補助）															
	計															

備考（１）作物は一般作物（代表的作物）の他、省力作物、特産物、有望・奨励作物なども考慮して選定（「作物選定理由」もこの視点で簡潔に記載）。

（２）農業所得、労働時間は、基本計画の経営モデル策定時の基礎データ等を活用して算出（統計データの基準年（H29年度）は原則合わせること）。

基礎データ（うめ）

【作物作型】：うめ

【作物選定理由】：果実加工品への展開が期待できる品目であるため

		1類			2類		3類			4類				備 考	
		目標50万円程度			100万円程度		150万円～200万円程度			250万円～350万円程度					
農 業 所 得	粗収益（万円）				370		597								
	経費（万円）				276		388								
	所得（万円）				94		209								
経営規模（a、頭、等）					50a		80a							○導入施設、機械等（例） 農機具庫、多目的スプリンクラー、軽トラック、家庭選果機、ロボット草刈機、アシストスーツ、追従式運搬機、気象観測装置 等	
作業名（大分類）		←摘果（古城）←←←													

備考（1）作物は一般作物（代表的作物）の他、省力作物、特産物、有望・奨励作物なども考慮して選定（「作物選定理由」もこの視点で簡潔に記載）。

（2）農業所得、労働時間は、基本計画の経営モデル策定時の基礎データ等を活用して算出（統計データの基準年（H29年度）は原則合わせること）。

基礎データ（りんどう）

【作物作型】：りんどう

【作物選定理由】 彼岸需要等の市場性が高く、価格が安定。

		1類			2類			3類			4類			備 考	
		目 標50万円程度			100万円程度			150万円～200万円程度			250万円～350万円程度				
農 業 所 得	粗収益（万円）	123			246			410			820			青色系早生品種で、定植後５年目以降	
	経費（万円）	66			132			252			585				
	所得（万円）	57			114			158			235				
経営規模（a、頭、等）		15a			30a			50a			80a			支柱（直管）片ツブシ、フラワーネット、トワインロープ	
作業名（大分類）														露地栽培 早生品種で、定植後５年目以降	
		生育期間						収穫							
月別労働時間（h）		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	備 考
1類	労働時間（基幹）	0	0	9	26	59	29	101	150	5	2	18	0	399	
	労働時間（補助）	0	0	0	0	0	0	0	44	0	0	0	0	44	
	計	0	0	9	26	59	29	101	194	5	2	18	0	443	家族２名（主従事者１名）
2類	労働時間（基幹）	0	0	19	52	119	58	200	200	9	3	36	0	695	
	労働時間（補助）	0	0	0	0	0	0	2	188	0	0	0	0	190	
	計	0	0	19	52	119	58	202	388	9	3	36	0	885	家族２名（主従事者１名）
3類	労働時間（基幹）	0	0	31	86	100	84	137	126	15	6	59	0	644	
	労働時間（補助）	0	0	0	0	98	13	200	200	0	0	0	0	511	
	計	0	0	31	86	198	97	337	326	15	6	59	0	1,155	家族２名（主従事者１名） 8月は臨時雇用320時間
4類	労働時間（基幹）	0	0	62	123	100	84	136	126	31	12	118	0	792	
	労働時間（補助）	0	0	0	49	147	111	200	200	0	0	0	0	707	
	計	0	0	62	172	247	195	336	326	31	12	118	0	1,499	家族２名（主従事者１名） 5月は臨時雇用148時間、7月は同337時 間、8月は同966時間

備考（1）作物は一般作物（代表的作物）の他、省力作物、特産物、有望・奨励作物なども考慮して選定（「作物選定理由」もこの視点で簡潔に記載）。

（2）農業所得、労働時間は、基本計画の経営モデル策定時の基礎データ等を活用して算出（統計データの基準年（H29年度）は原則合わせること）。

基礎データ（ダリア）

【作物作型】：ダリア

【作物選定理由】施設栽培により周年採花が可能で、経営が安定。

		1類			2類			3類			4類			備 考	
		目標50万円程度			100万円程度			150万円～200万円程度			250万円～350万円程度				
農 業 所 得	粗収益（万円）	294			588			882			1,176				
	経費（万円）	230			460			690			922				
	所得（万円）	64			128			192			254				
経営規模（a、頭、等）		5a			10a			15a			20a			施設栽培、フラワーネット、電照設備、暖房機等	
作業名（大分類）														施設栽培 加温電照周年と無加温秋切りを3：1の面積割合で栽培	
		収穫			調整			収穫							
月別労働時間（h）		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	備 考
1類	労働時間（基幹）	14	19	51	40	24	54	64	49	70	65	58	25	532	
	労働時間（補助）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	14	19	51	40	24	54	64	49	70	65	58	25	532	家族1名（主従事者1名） 6月は臨時雇用17時間、7月は同15時間、 9月は同29時間、10月は同2時間
2類	労働時間（基幹）	28	37	102	80	47	54	65	61	100	66	58	49	747	
	労働時間（補助）	0	0	0	0	0	53	64	37	40	65	58	0	317	
	計	28	37	102	80	47	107	129	98	140	131	116	49	1,064	家族2名（主従事者1名） 6月は臨時雇用35時間、7月は同29時間、 9月は同59時間、10月は同3時間
3類	労働時間（基幹）	42	56	153	120	71	81	97	61	100	98	87	74	1,040	
	労働時間（補助）	0	0	0	0	0	80	96	86	110	98	87	0	557	
	計	42	56	153	120	71	161	193	147	210	196	174	74	1,597	家族2名（主従事者1名） 6月は臨時雇用52時間、7月は同44時間、 9月は同88時間、10月は同5時間
4類	労働時間（基幹）	56	74	168	123	47	84	97	61	100	131	110	98	1,149	
	労働時間（補助）	0	0	36	37	47	131	160	135	160	130	122	0	958	
	計	56	74	204	160	94	215	257	196	260	261	232	98	2,107	家族2名（主従事者1名） 6月は臨時雇用69時間、7月は同59時間、 9月は同138時間、10月は同7時間

備考（1）作物は一般作物（代表的作物）の他、省力作物、特産物、有望・奨励作物なども考慮して選定（「作物選定理由」もこの視点で簡潔に記載）。

（2）農業所得、労働時間は、基本計画の経営モデル策定時の基礎データ等を活用して算出（統計データの基準年（H29年度）は原則合わせること）。

基礎データ（茶（自園自製自販））

【作物作型】：茶（自園自製自販）

【作物選定理由】：中山間でも生産可能であり、今後の生産の増加が見込める品目であるため

		1類			2類			3類			4類			備 考	
		目標50万円程度			100万円程度			150万円～200万円程度			250万円～350万円程度				
農 業 所 得	粗収益（万円）	370			473			631			946			農業経営体当たり	
	経費（万円）	320			376			455			627			〃	
	所得（万円）	50			98			176			319			〃	
経営規模（a、頭、等）		47a			60a			80a			120a			必要な装備： 摘採機、刈ナラシ機、せん枝機、両面裾刈機、肥料散布機、耕運機、動力噴霧機、トラック、製茶機械（共用）	
作業名（大分類）														労働時間について、毎月171時間/人（1日8時間、週5日）を上限として試算。	
月別労働時間（h）		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	備 考
1類	労働時間（基幹）	61	48	57	77	171	150	120	98	50	51	133	106	1,123	
	労働時間（補助）	0	0	0	0	81	9	5	0	0	0	0	0	95	5～7月 家族（無給）
	計	61	48	57	77	252	160	125	98	50	51	133	106	1,218	
2類	労働時間（基幹）	69	54	65	88	171	155	128	111	56	57	150	120	1,225	
	労働時間（補助）	0	0	0	0	114	25	13	0	0	0	0	0	152	5～7月 家族（無給）
	計	69	54	65	88	285	180	141	111	56	57	150	120	1,377	
3類	労働時間（基幹）	80	62	75	101	171	161	139	129	65	66	171	131	1,352	
	労働時間（補助）	0	0	0	0	158	47	24	0	0	0	2	7	238	5～7月、11月、12月 家族（無給） 5月臨時雇用（13時間）が必要
	計	80	62	75	101	329	208	163	129	65	66	173	139	1,590	
4類	労働時間（基幹）	104	81	97	123	171	171	147	149	85	70	171	136	1,507	
	労働時間（補助）	0	0	0	9	257	100	65	18	0	16	54	44	563	4～8月、10～12月 家族（無給） 5月臨時雇用（86時間）が必要
	計	104	81	97	132	429	271	212	167	85	86	226	180	2,069	

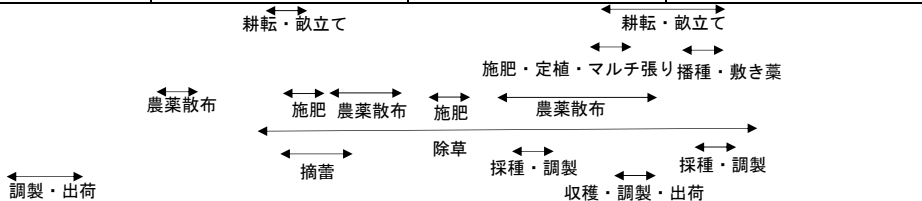
備考（１）作物は一般作物（代表的作物）の他、省力作物、特産物、有望・奨励作物なども考慮して選定（「作物選定理由」もこの視点で簡潔に記載）。

（２）農業所得、労働時間は、基本計画の経営モデル策定時の基礎データ等を活用して算出。

基礎データ（薬用作物（シャクヤク））

【作物作型】：薬用作物（シャクヤク）

【作物選定理由】：寒暖いずれの地域でも生育する広域適応性がある地域特産物のため

		1類		2類		3類		4類		備 考					
		目標50万円程度		100万円程度		150万円～200万円程度		250万円～350万円程度							
農業所得	粗収益（万円）	57.1		114.1		175.6		285.4		前提条件： 経営規模及び労働時間について、栽培年数が5年（1年育苗、その後4年で収穫）の作物であるため、播種から収穫までの段階を同じ年に作付すると想定した場合の合計。 必要な装備： トラクター、掘取機、動力噴機、管理機					
	経費（万円）	7.1		13.6		19.9		29.1							
	所得（万円）	50		100.6		155.8		256.2							
経営規模（a、頭、等）		13a		26a		40a		65a							
作業名（大分類）															
月別労働時間（h）		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	備 考
1類	労働時間（基幹）	0	20	1	1	37	19	29	26	58	17	0	0	209	
	労働時間（補助）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	20	1	1	37	19	29	26	58	17	0	0	209	
2類	労働時間（基幹）	0	38	3	1	69	36	55	49	110	31	0	0	393	
	労働時間（補助）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	38	3	1	69	36	55	49	110	31	0	0	393	
3類	労働時間（基幹）	0	55	4	2	100	52	79	71	158	45	0	0	566	
	労働時間（補助）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	55	4	2	100	52	79	71	158	45	0	0	566	
4類	労働時間（基幹）	0	78	6	3	142	74	113	100	171	64	0	0	751	
	労働時間（補助）	0	0	0	0	0	0	0	0	54	0	0	0	54	
	計	0	78	6	3	142	74	113	100	225	64	0	0	805	

備考（１）作物は一般作物（代表的作物）の他、省力作物、特産物、有望・奨励作物なども考慮して選定（「作物選定理由」もこの視点で簡潔に記載）。

（２）農業所得、労働時間は、基本計画の経営モデル策定時の基礎データ等を活用して算出（統計データの基準年（H29年度）は原則合わせること）。

※薬用作物（シャクヤク）については、統計データがないため、関係者からの聞き取りを参考に推計

基礎データ（薬用作物（トウキ））

【作物作型】： 薬用作物（トウキ）

【作物選定理由】： 寒暖いずれの地域でも生育する広域適応性がある地域特産物のため

		1類	2類		3類		4類		備 考				
		目標50万円程度		100万円程度		150万円～200万円程度		250万円～350万円程度					
農 業 所 得	粗収益（万円）	72.4		144.7		217.1		361.8		前提条件： 経営規模及び労働時間について、栽培年数が2年の作物であるため、播種から収穫までの段階を同じ年に作付すると想定した場合の合計。 必要な装備： トラクター、移植機、掘取機、動力噴霧機、管理機			
	経費（万円）	21.3		39.7		55.1		81.6					
	所得（万円）	51.0		105.1		162.0		280.2					
経営規模（a、頭、等）		20a		40a		60a		100a					
作業名（大分類）		←→→←											

備考（１）作物は一般作物（代表的作物）の他、省力作物、特産物、有望・奨励作物なども考慮して選定（「作物選定理由」もこの視点で簡潔に記載）。

（２）農業所得、労働時間は、基本計画の経営モデル策定時の基礎データ等を活用して算出（統計データの基準年（H29年度）は原則合わせること）。

※薬用作物（トウキ）については、統計データがないため、関係者からの聞き取りを参考に推計

基礎データ（繁殖経営）

【作物作型】：繁殖経営

【作物選定理由】：畜種の中でも專業率の低い畜種であること、酪肉近や基本計画でも目指すべき姿を公表している畜種であることなどから、繁殖経営を選択。

		1類		2類		3類		4類		備 考																																										
		目標50万円程度		100万円程度		150万円～200万円程度		250万円～350万円程度																																												
農 得 業 所	粗収益（万円）			276		564		1,092		畜産生産費統計から算出。 繁殖雌牛1頭当たりの収益性×月当たりの繁殖雌牛平均飼養頭数																																										
	経費（万円）			176		382		718																																												
	所得（万円）	0		100		183		374																																												
経営規模（a、頭、等）				繁殖雌牛2～5頭未満 （月当たりの繁殖雌牛平均飼養頭数：3.3頭/月）		繁殖雌牛5～10頭未満 （月当たりの繁殖雌牛平均飼養頭数：7.2頭/月）		繁殖雌牛10～20頭未満 （月当たりの繁殖雌牛平均飼養頭数：14.4頭/月）																																												
作業名（大分類）		<table><tr><th rowspan="2">類型</th><th rowspan="2">合計</th><th colspan="4">直接労働時間</th><th colspan="2">間接労働時間</th></tr><tr><th rowspan="2">小計</th><th colspan="2">飼養労働時間</th><th rowspan="2">その他</th><th rowspan="2">うち 自給牧草に係る時間</th></tr><tr><td>飼料の調理・給与・給水</td><td>敷料の搬入・きゅう肥の搬出</td></tr><tr><td>2類</td><td>231.77</td><td>186.27</td><td>102.12</td><td>46.87</td><td>37.28</td><td>45.5</td><td>38.64</td></tr><tr><td>3類</td><td>209.98</td><td>171.57</td><td>98.92</td><td>48.11</td><td>24.54</td><td>38.41</td><td>33.22</td></tr><tr><td>4類</td><td>137.09</td><td>114.57</td><td>70.2</td><td>23.27</td><td>21.1</td><td>22.52</td><td>19.24</td></tr></table>										類型	合計	直接労働時間				間接労働時間		小計	飼養労働時間		その他	うち 自給牧草に係る時間	飼料の調理・給与・給水	敷料の搬入・きゅう肥の搬出	2類	231.77	186.27	102.12	46.87	37.28	45.5	38.64	3類	209.98	171.57	98.92	48.11	24.54	38.41	33.22	4類	137.09	114.57	70.2	23.27	21.1	22.52	19.24	季節による作業量の大きな変動はないため、畜産物生産費統計にある子牛1頭当たりの作業別労働時間を記入。	
														類型	合計	直接労働時間					間接労働時間																															
												小計	飼養労働時間			その他	うち 自給牧草に係る時間																																			
													飼料の調理・給与・給水	敷料の搬入・きゅう肥の搬出																																						
												2類	231.77	186.27	102.12	46.87	37.28	45.5	38.64																																	
3類	209.98	171.57	98.92	48.11	24.54	38.41	33.22																																													
4類	137.09	114.57	70.2	23.27	21.1	22.52	19.24																																													
月別労働時間（h）		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	備 考																																					
1類	労働時間（基幹）													0																																						
	労働時間（補助）													0																																						
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																						
2類	労働時間（基幹）	畜産生産費統計から算出。																																																		
	労働時間（補助）	畜産の場合、毎日飼養管理が発生するため、年間の労働時間を示す。 基幹：子牛販売頭数（頭/経営体）×家族労働時間（時間/子牛1頭）÷農業就業者数（人/経営体）=2.7頭×231.2時間÷1.7人≒ <u>367時間/人</u> 補助：子牛販売頭数（頭/経営体）×雇用労働時間（時間/子牛1頭）=2.7頭×0.62時間≒2時間																																																		
	計																																																			
3類	労働時間（基幹）	畜産生産費統計から算出。																																																		
	労働時間（補助）	畜産の場合、毎日飼養管理が発生するため、年間の労働時間を示す。 基幹：子牛販売頭数（頭/経営体）×家族労働時間（時間/子牛1頭）÷農業就業者数（人/経営体）=5.6頭×204.83時間÷1.6人≒ <u>717時間/人</u> 補助：子牛販売頭数（頭/経営体）×雇用労働時間（時間/子牛1頭）=5.6頭×5.15時間≒29時間																																																		
	計																																																			
4類	労働時間（基幹）	畜産生産費統計から算出。																																																		
	労働時間（補助）	畜産の場合、毎日飼養管理が発生するため、年間の労働時間を示す。 基幹：子牛販売頭数（頭/経営体）×家族労働時間（時間/子牛1頭）÷農業就業者数（人/経営体）=11.4頭×133.05時間÷1.8人≒ <u>843時間/人</u> 補助：子牛販売頭数（頭/経営体）×雇用労働時間（時間/子牛1頭）=11.4頭×4.04時間≒46時間																																																		
	計																																																			

備考（1）作物は一般作物（代表的作物）の他、省力作物、特産物、有望・奨励作物なども考慮して選定（「作物選定理由」もこの視点で簡潔に記載）。

（2）農業所得、労働時間は、基本計画の経営モデル策定時の基礎データ等を活用して算出（統計データの基準年（H29年度）は原則合わせること）。

基礎データ（スギ）

【作物作型】： スギ

【作物選定理由】：林業で代表的な樹種であり中山間地域でも主要な樹種と考えられるため

		1類		2類		3類		4類		備 考					
		目標50万円程度		100万円程度		150万円～200万円程度		250万円～350万円程度							
農 業 所 得	粗収益（万円）	65		130		209		479							
	経費（万円）	14		29		46		186							
	所得（万円）	51		102		163		292							
経営規模（a、頭、等）		間伐2.5ha		間伐5.0ha		間伐8.0ha		間伐9.3ha		【1～3類】チェーンソー、ロープウィンチ、軽トラック 【4類】チェーンソー、林内作業車、2tトラック（ロング）					
作業名（大分類）		間伐（伐採・集材・搬出）						間伐（伐採・集材・搬出）						・梅雨の時期は作業を行わない。それ以外の時期は作業量や地域によっては積雪等により作業期間が限られる。	
月別労働時間（h）		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	備 考
1類	労働時間（基幹）									150	150	150	123	573	家族2名
	労働時間（補助）									56	76	75	20	227	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	206	226	225	143	800
2類	労働時間（基幹）	150	150	150	96					150	150	150	150	1146	家族2名
	労働時間（補助）	60	60	60	38					56	60	60	60	454	
	計	210	210	210	134	0	0	0	0	0	206	210	210	210	1600
3類	労働時間（基幹）	150	150	150	150	150			150	150	150	150	150	1500	家族2名
	労働時間（補助）	110	110	110	110	90			90	110	110	110	110	1060	
	計	260	260	260	260	240	0	0	0	240	260	260	260	260	2560
4類	労働時間（基幹）	150	150	150	150	150			150	150	150	150	150	1500	家族2名
	労働時間（補助）	150	150	150	150	150			126	150	150	150	150	1476	
	計	300	300	300	300	300	0	0	0	276	300	300	300	300	2976

備考 (1) 作物は一般作物(代表的作物)の他、省力作物、特産物、有望・奨励作物なども考慮して選定(「作物選定理由」もこの視点で簡潔に記載)。

(2) 農業所得、労働時間は、基本計画の経営モデル策定時の基礎データ等を活用して算出（統計データの基準年（H29年度）は原則合わせること）。

基礎データ（原木しいたけ）

【作物作型】：原木しいたけ 【作物選定理由】：特用林産物の中でも比較的中山間地域における複合経営が多い品目であると想定されるため

		1類			2類			3類			4類			備 考	
		目標50万円程度			100万円程度			150万円～200万円程度			250万円～350万円程度				
農 業 所 得	粗収益（万円）	251			456			760			1,140				
	経費（万円）	187			345			583			845				
	所得（万円）	64			111			177			295				
経営規模（a、頭、等）		ほだ場300㎡			ほだ場500㎡			ほだ場700㎡			ほだ場1,000㎡			栽培舎、人工ほだ場、ほだ木運搬車	
作業名（大分類）		玉切り・種菌・仮伏せ													
		伏せ込み													
		浸水													
		収穫（冬出し） 収穫（夏出し） 収穫（秋～冬出し）													
月別労働時間（h）		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	備 考
1類	労働時間（基幹）	50	50	73	76	106	106	53	53	86	86	86	86	911	
	労働時間（補助）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	50	50	73	76	106	106	53	53	86	86	86	86	911	
2類	労働時間（基幹）	100	100	147	152	180	180	107	107	172	172	172	172	1,761	
	労働時間（補助）	0	0	0	0	32	32	0	0	0	0	0	0	64	家族1人
	計	100	100	147	152	212	212	107	107	172	172	172	172	1,825	
3類	労働時間（基幹）	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	1,800	
	労働時間（補助）	17	17	96	104	204	204	29	29	137	137	137	137	1,248	月150時間未満は家族労働。月150時間超える分は臨時雇いで1時間1,000円で計上。
	計	167	167	246	254	354	354	179	179	287	287	287	287	3,048	
4類	労働時間（基幹）	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	1,800	
	労働時間（補助）	50	50	145	154	274	274	64	64	194	194	194	194	1,851	月150時間未満は家族労働。月150時間超える分は臨時雇いで1時間1,000円で計上。
	計	200	200	295	304	424	424	214	214	344	344	344	344	3,651	

備考（１）作物は一般作物（代表的作物）の他、省力作物、特産物、有望・奨励作物なども考慮して選定（「作物選定理由」もこの視点で簡潔に記載）。

（２）農業所得、労働時間は、基本計画の経営モデル策定時の基礎データ等を活用して算出（統計データの基準年（H29年度）は原則合わせること）。